

4年「特色ある地いきと人々の暮らし～国際交流に取り組むまち・塩竈市」

○指導計画作成の工夫

★国際交流に取り組む地域として、外国人住民数が多く、増加率も高い塩竈市を取り上げた。提携している姉妹都市はないが、市や国際交流団体、地域住民が協力して様々な取り組みを行っている。調べ学習を通して、最終的には、「共に住みやすいまちづくりをすることが、まちの発展に繋がっていること」に気付かせたい。そして、塩竈市の2.3倍の外国人住民がいる仙台市に住む児童が、国際交流の大切さについて考える機会としたい。

単元名	総時数	時	●⇒学習すべき事項、内容、活動 ※留意点 「教師の発言」 『児童の発言』						
国際交流に取り組むまち・塩竈市	7時間	1（つかむ）	●【知識・技能】県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解する。 ⇒国際交流に取り組んでいる地域があることを理解する。 1 塩竈市の国際交流の取り組みを知る。5分 ⇒https://www.city.shiogama.miyagi.jp/soshiki/6/2315.html （2019年） https://www.city.shiogama.miyagi.jp/soshiki/6/3119.html （2018年） 『塩竈市公民館で、塩竈市民と塩竈市に住む外国人が交流しているね。』 『ポットラックパーティ（一品持ち寄りパーティ）という名前の会で、お互いの国の料理を持ち寄って食べるんだって。』 『ダンスや歌も披露するそうだよ。』 2 塩竈市の外国人住民数の移り変わりについて知る。15分 ⇒わたしたちの宮城県P12の折れ線グラフ【塩竈市に住む外国の人の数の移り変わり】、または2020年3月末までのデータも含めた棒グラフ【塩竈市の外国人住民数の変化】を児童に見せる。 ⇒「このグラフからどのようなことが読み取れますか？」 『塩竈市に住む外国の人は、ここ10年でどんどん増えている。』 「私たちが住む仙台市と比べてみましょう。」→パワーポイントで見せる場合はこちら <table><tr><td></td><td>外国人住民の増加率（2011年～2020年）</td></tr><tr><td>塩竈市</td><td>約2.2倍</td></tr><tr><td>仙台市</td><td>約1.4倍</td></tr></table> 『仙台市よりも塩竈市の方が、増え方が大きいんだね。』 「今や塩竈市の人口の100人に1人が外国人だそうですよ。」 3 気付いたことや考えたこと、疑問を発表して整理し、学習問題を作る。15分 ⇒『外国人住民が増えて、塩竈市民も外国の人々もお互いに困っていないかな。』 『そもそも、こんなに外国人住民が増えたのには、何か理由があるのかな。』 『ポットラックパーティの他には、どのような交流を行っているのだろう。』 塩竈市では、外国の人々と共に暮らすために、 どのような取り組みをしているのでしょうか。 ※児童のつぶやきや発言を基にして学習問題を作るとよい。 4 本時のまとめをする。10分 ・塩竈市の国際交流について分かったことや感想をまとめる。 塩竈市ではポットラックパーティという国際交流会を行っていることが分かりました。塩竈市は、外国人住民の増加率が仙台市よりも高いことに驚きました。		外国人住民の増加率（2011年～2020年）	塩竈市	約2.2倍	仙台市	約1.4倍
				外国人住民の増加率（2011年～2020年）					
塩竈市	約2.2倍								
仙台市	約1.4倍								

単元名	総時数	時	●⇒学習すべき事項、内容、活動
国際交流に取り組むまち・塩竈市	7時間	2 (調べる)	●【知識】県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解する。 ⇒特色あるまちづくりを進めたり、県や市、地域住民など様々な組織や機関、人々の協力により、観光などの産業を発展させたりしていることなどを基に、県内の特色ある地域の様子について理解すること。 ●【技能】地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめること。 ⇒地図帳やコンピュータなどを使って調べたり、県庁や市役所などが作成した資料で特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業などを調べたりして、県の白地図などにまとめること。 ⇒必要な情報を集める技能、地図や写真などを見比べながら、地域ごとの情報を読み取る技能、調べたことを白地図などにまとめる技能などを身に付けさせる。 ●(内容の取扱い) 我が国や外国には国旗があることを理解し、それを尊重する態度を養うよう配慮する。 1 前時で学習したことを振り返る。5分 ⇒例『前は塩竈市の国際交流について学習しました。ポットラックパーティという一品持ち寄り食事会を知りました。また塩竈市は外国人住民が増えています。』 2 本時の課題を提示する。5分 塩竈市では、どうして外国人住民が増えているのでしょうか。 3 わたしたちの宮城県P12より、塩竈市では技能実習生の外国人が増えていることを調べる。10分 ⇒『技能実習生ってなんだろう』 ⇒『日本の技術を学びに来ている外国の人たちなんだね』 ⇒『自分の国に戻って、日本の技術を生かすんだね』 4 塩竈市の外国人住民の出身国について調べる。15分 ⇒「そもそも、どんな国から塩竈市へ来ているのでしょうか。」 ⇒【塩竈市の外国人住民出身国】 『中国、韓国、インドネシア、ベトナムなどです。』 ※それぞれの国の名称と位置を、地図帳などで確認させる。 ※世界地図(白地図)を配布し、国名と国旗を書かせる。 ※国旗について指導する。 「国旗は、国を表す目印で、その国の人々の願いや気持ちが込められています。国と国が交流するときには、お互いの国旗を尊重することが大切です。」(令和2年度版 新しい社会4より) 5 まとめた白地図から分かることを発表する。 ⇒『日本に近い国から多く来ているんだね』 ⇒『日本に近い国だけでなく、世界のさまざまな国からも塩竈市に来ているね。』 4 本時のまとめをする。10分 塩竈市で外国人住民が増えているのは、日本の近くの国からの技能実習生が、水産業に関わる工場や店で日本の技術を学びに来ているからです。

単元名	総時数	時	●⇒学習すべき事項、内容、活動
国際交流に取り組むまち・塩竈市	7時間	3(調べる)	●【知識】県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解する。 ⇒特色あるまちづくりを進めたり、県や市、地域住民など様々な組織や機関、人々の協力により、観光などの産業を発展させたりしていることなどを基に、県内の特色ある地域の様子について理解すること。 ●【技能】地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめること。 ⇒地図帳やコンピュータなどを使って調べたり、県庁や市役所などが作成した資料で特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業などを調べたりして、県の白地図などにまとめること。 ⇒必要な情報を集める技能、地図や写真などを見比べながら、地域ごとの情報を読み取る技能、調べたことを白地図などにまとめる技能などを身に付けさせる。 ●(内容の取扱い) 我が国や外国には国旗があることを理解し、それを尊重する態度を養うよう配慮する。 1 前時で学習したことを振り返る。5分 ⇒例『塩竈市で外国人住民が増えているのは、日本の近くの国からの技能実習生が、水産業に関わる工場や店で日本の技術を学びに来ているからだとなりました。』 2 わたしたちの宮城県 P12 より、技能実習生（外国人住民）が増えることによる課題もあることに気付く。 ⇒『文化や生活のルールが違うと、塩竈市に住む外国の人が困ることがありそうです』 ⇒『塩竈市に住む外国の人が困らないように、どんな取り組みが行われているのだろう。』 3 本時の課題を提示する。5分 国際交流のために、塩竈市ではどのような取り組みをしているのでしょうか。 4 塩竈市で行われている国際交流の取り組みについて調べる。15分 ⇒わたしたちの宮城県 P12～13 を利用する。 『外国人住民が塩竈みなと祭りに参加しているね。』 『水産業の工場や店で働いているんだね。』 『塩竈警察署の方々が交通ルールを教えているそうです。』 ⇒【国際交流の推進】（塩竈市 HP） https://www.city.shiogama.miyagi.jp/soshiki/6/1374.html ⇒【ごみの出し方（ベトナム語版）】（塩竈市 HP） https://www.city.shiogama.miyagi.jp/uploaded/attachment/4884.pdf ⇒【災害に備えて（中国語版）】（塩竈市 HP） https://www.city.shiogama.miyagi.jp/uploaded/attachment/4888.pdf ⇒【外国人も住みやすい塩竈に ボランティアで日本語教室を開催】（広報しおがま 2019. 2） https://www.city.shiogama.miyagi.jp/uploaded/attachment/2030.pdf ⇒【宮城県塩竈市 技能実習生も成人式】 http://needs-you.com/%E5%AE%AE%E5%9F%8E%E7%9C%8C%E5%A1%A9%E9%87%9C%E5%B8%82%E3%80%80%E6%8A%80%E8%83%BD%E5%AE%9F%E7%BF%92%E7%94%9F%E3%82%82%E6%88%90%E4%BA%BA%E5%BC%8F/ 4 本時のまとめをする。10分 塩竈市では、市や地域住民が協力して、外国の人々が安心して暮らせるような取り組みをしている。

単元名	総時数	時	●⇒学習すべき事項、内容、活動
国際交流に取り組むまち・塩竈市	7時間	4(調べる)	●【思考力・判断力・表現力】特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現すること。 ⇒「活動や産業はどのような経緯で始まったか」「人々はどのように協力しているか」などの問いを設けて調べる。 ⇒その地域の特色を考えたりして、調べたことや考えたことを表現すること。 ⇒活動や産業の起こりや成り立ち ⇒県や市、地域住民、産業に携わる人々など、様々な立場の人々の協力関係 ⇒活動や産業と地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして、その地域の特色を考え、文章で記述したり、白地図や年表などにまとめたことを基に説明したりする。 1 前時で学習したことを振り返る。5分 ⇒例『前は塩竈市の取り組みについて学習しました。技能実習生である外国人住民が生活で困らないように工夫していました。』 2 本時の課題を提示する。5分 国際交流のために、塩竈国際交流協会は、どのような取り組みを行っているのでしょうか。 3 塩竈国際交流協会の取り組みを調べる。25分 ⇒【塩竈国際交流協会の概要】 http://mia-miyagi.jp/pdf/ngo/2_shiogama_kokusaikouryu.pdf 『今から26年前の1995年に設立されたんだね。』 『MIA（宮城県国際化協会）と協力して活動しているんだね。』 『日本語教室、ハイキングなどの行事を行っているんだ。』 『ポットラックパーティは、塩竈国際交流協会が開催しているんだね。』 ⇒【多文化色豊かな「塩竈みなと祭」】 https://globe.asahi.com/article/11722113 『日本人の地域交流サポーターが声をかけて、技能実習生に参加してもらったんだね。』 『みんなで教え合い、励まし合いながら、楽しそうに踊っているね。』 ⇒【外国人実習生「地域の一員に」塩釜で交流会】（朝日新聞） https://www.asahi.com/articles/CMTW1901280400001.html 『技能実習生が、インドネシアやベトナムの踊りを披露しているね。』 4 本時のまとめをする。10分 塩竈国際交流協会は、塩竈市民と外国人住民をつなぐ架け橋となる活動をしている。

単元名	総時数	時	●⇒学習すべき事項、内容、活動
国際交流に 取り組むまち・ 塩竈市	7 時間	5 (調べる)	●【思考力・判断力・表現力】特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現すること。 ⇒「活動や産業はどのような経緯で始まったか」「人々はどのように協力しているか」などの問いを設けて調べる。 ⇒その地域の特色を考えたりして、調べたことや考えたことを表現すること。 ⇒活動や産業の起こりや成り立ち ⇒県や市、地域住民、産業に携わる人々など、様々な立場の人々の協力関係 ⇒活動や産業と地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして、その地域の特色を考え、文章で記述したり、白地図や年表などにまとめたことを基に説明したりする。 1 前時で学習したことを振り返る。5 分 ⇒㊦『前は塩竈国際交流協会の取り組みについて学習しました。技能実習生である外国人住民が塩竈みなと祭りに参加したり、交流会で母国の踊りや料理を紹介したりしていました。』 2 本時の課題を提示する。5 分 塩竈市の人々や、外国の人々は、どのような思いで国際交流に参加しているのだろう。 3 塩竈市の人々の思いについて話し合う。5 分 ⇒『技能実習生は、地域の人々と触れ合えてうれしいと思う。』 ⇒『外国から日本へやってきて、不安なことも多いだろうしね。』 ⇒『地域の人々も、外国の文化を知ることができて楽しいんじゃないかな。』 ⇒『塩竈市や塩竈国際交流協会の人々は、地域の人々と外国人住民とが良い関係をつくってほしいのだと思う。』 4 わたしたちの宮城県 P 13 や【外国人実習生「地域の一員に」塩釜で交流会】 (朝日新聞) https://www.asahi.com/articles/CMTW1901280400001.html より、塩竈市の人々や、外国の人々の思いを読み取る。20 分 ⇒『地域の人たちも、普段は感じることはありません外国の文化や言葉を体感することができて、とてもうれしそうなんだね。』 ⇒『これからもさらに多くの人たちに参加してほしいと言っているね。』 ⇒『交流会は、地域として実習生を受け入れる環境をつくるためなんだね。』 ⇒『技能実習生の方が、日本の人と仲良くできるのがうれしいと言っているよ』 ⇒『地域の人たちは、技能実習生の明るさに驚いて、技能実習生ががんばっていることをもっとみんなに知ってほしいと言っているよ。』 ⇒『ぜんぎょれん食品の方は、宮城に来て、ぜんぎょれん食品で働いて良かったと思ってもらいたいんだね。』 ⇒『技能実習生は、働き手以外にも地域活性化に貢献できる存在なんだね。』 5 本時のまとめをする。10 分 塩竈市の人々や外国の人々は、互いの文化を知ることができ、関係を深めるためにも国際交流活動は重要だと考えて参加している。

単元名	総時数	時	●⇒学習すべき事項、内容、活動
国際交流に取り組むまち・塩竈市	7時間	6 (まとめる)	●【思考力・判断力・表現力】特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現すること。 ⇒その地域の特色を考えたりして、調べたことや考えたことを表現すること。 ⇒県や市、地域住民、産業に携わる人々など、様々な立場の人々の協力関係 ⇒活動や産業と地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして、その地域の特色を考え、文章で記述したり、白地図や年表などにまとめたことを基に説明したりする。 1 前時で学習したことを振り返る。5分 ⇒④『前は塩竈国際交流協会の取り組みについて学習しました。塩竈市民と外国人住民が共に暮らしやすいように、協力していることが分かりました。』 2 本時の課題を提示する。5分 調べたことを整理して、学習問題の答えをまとめましょう 3 前時までに学習してきた内容を振り返り、シンキングツールにまとめる。15分 ⇒塩竈市は、外国人住民が暮らしやすいような取り組みを行っている。 ⇒塩竈国際交流協会は、塩竈市民と外国人住民が交流できるイベントを行っている。 ⇒地域の人々は、外国人住民に日本語を教えるなどのボランティアをしている。 ⇒技能実習生として来日した外国人住民は、塩竈市の産業を支えている。 ⇒お互いの国の文化的な違いを認め合うことが何よりも大切である。 4 ふれあいエスプ塩竈で行われている「サットさんの STORY TIME!」を紹介する。 https://www.city.shiogama.miyagi.jp/soshiki/39/19390.html https://www.miyalabo.jp/event/event.shtml?id=3319 10分 ※ふれあいエスプ塩竈…enjoy (楽しむ), study (学ぶ), play (遊ぶ) という頭文字から名前が付けられた。子どもからお年寄りまで交流できる生涯学習施設。 https://www.city.shiogama.miyagi.jp/soshiki/39/1932.html ⇒フィリピン系カナダ人で塩竈市 ALT のサットさんは平成 30 年 (2018 年) からボランティアで「STORY TIME!」を行っている。 ⇒主に乳幼児や小学生を対象に、絵本の読み聞かせや手遊び、歌遊びをしたり、中庭で一緒に遊んだりしている。 ⇒国際交流への思いが強いサットさんの発案で始められた。 ⇒『塩竈市に住む外国の人も、国際交流が大事だと考えているんだね』 ⇒『サットさんのように、国際交流活動を自分から進んで始めてみるのが大切だね。』 ⇒『仙台市は塩竈市より外国の人が多いため、参加できそうな国際交流会を探してみよう。』 5 学習問題の答えをまとめる。10分 塩竈市では、外国の人々と共に暮らすために、市や団体、塩竈市民が協力して活動している。互いの国のことを理解し合い、交流を深めることで、共に住みよいまちづくりをしている。仙台市は塩竈市よりも外国人住民が多いので、国際交流は私たちにとっても大切なことである。

単元名	総時数	時	●⇒学習すべき事項，内容，活動									
国際交流に取り組むまち・塩竈市	7時間	7（いかす）	●【思考力・判断力・表現力】特色ある地域の位置や自然環境，人々の活動や産業の歴史的背景，人々の協力関係などに着目して，地域の様子を捉え，それらの特色を考え，表現すること。 ⇒その地域の特色を考えたりして，調べたことや考えたことを表現すること。 ⇒県や市，地域住民，産業に携わる人々など，様々な立場の人々の協力関係 ⇒活動や産業と地域の発展を関連付けたり，自分たちの住む地域と比較したりして，その地域の特色を考え，文章で記述したり，白地図や年表などにまとめたことを基に説明したりする。									
			1前時で学習したことを振り返る。5分 ⇒(例)『前回は学習問題の答えをまとめました。塩竈市のように，私たちも国際交流をしたいと思いました。』									
			2本時の課題を提示する。5分 調べたことを基に，4コマCMを作りましょう。 ⇒これまで学習してきた内容や資料を生かして，グループごとに4コマCMを作る。 ⇒4コマCMの作成方法は以下のような方法が考えられる。 ◆タブレットでの動画で4コマCMを撮影する。 ◆4枚の写真資料にキャッチフレーズをつけたものを作り4コマCMにする。 ◆4枚の画用紙に調べたことをまとめて4コマCMにする。									
			34コマCMを作成する。35分 ⇒(例)									
			<table><tr><td>1コマ目</td><td>塩竈市～100人に1人が外国人住民 10年前の約2倍</td><td rowspan="4">グラフや写真資料， 文章を示しながら</td></tr><tr><td>2コマ目</td><td>世界中の国々から技術を学びに来ています。 市は住みやすい環境を整えています。</td></tr><tr><td>3コマ目</td><td>交流会や塩竈みなと祭りに参加しています。 地域の人はボランティアで日本語を教えています。 外国住民が塩竈の産業を支えています。</td></tr><tr><td>4コマ目</td><td>お互いの国について認め合うことが大切です。</td></tr></table>	1コマ目	塩竈市～100人に1人が外国人住民 10年前の約2倍	グラフや写真資料， 文章を示しながら	2コマ目	世界中の国々から技術を学びに来ています。 市は住みやすい環境を整えています。	3コマ目	交流会や塩竈みなと祭りに参加しています。 地域の人はボランティアで日本語を教えています。 外国住民が塩竈の産業を支えています。	4コマ目	お互いの国について認め合うことが大切です。
			1コマ目	塩竈市～100人に1人が外国人住民 10年前の約2倍	グラフや写真資料， 文章を示しながら							
			2コマ目	世界中の国々から技術を学びに来ています。 市は住みやすい環境を整えています。								
			3コマ目	交流会や塩竈みなと祭りに参加しています。 地域の人はボランティアで日本語を教えています。 外国住民が塩竈の産業を支えています。								
			4コマ目	お互いの国について認め合うことが大切です。								
			4全体で発表し合い，共有する。35分 ⇒感想を伝え合う。									
5「国際交流に取り組む町・塩竈市」の学習感想を書く。10分 ⇒単元の学習を振り返りながら，今回の学び方を確認する。 ⇒単元を通して，気付いたことや考えたことを書かせる。												